

2021 年 6 月 9 日
日本広報学会
理事長 柴山 慎一

日本広報学会 第 27 回研究発表全国大会 開催のご案内

主 催：日本広報学会
開催校：上智大学

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第 27 回研究発表全国大会は、以下のご案内の通り、2021 年 10 月 9 日（土）10 日（日）の日程で、上智大学四谷キャンパスにて開催いたします。

会員の皆様におかれましては、広い視点から広報・コミュニケーションに関連する研究成果をご披露いただければと存じます。各分野の碩学の皆様、教育・研究機関に属する若手研究者の皆様、企業や自治体等に在籍する実務家・専門職の皆様、どうぞ奮ってご参加・ご発表くださいませ。

1. 統一論題

広報教育の発展とデジタル・トランスフォーメーション

<趣旨>

激変するメディア環境や社会情勢に対応し、大学や大学院、組織における広報教育は変化を求められている。1951 年に上智大学が日本初の広報学の講座を設置してから 70 年が経過した。最近、講座を提供する大学や大学院も増え、現場の広報パーソンが学べるセミナーや勉強会も増えている。その間、広報教育の内容も発展・多様化し、近年では SNS やウェブ動画の戦略的活用などが教育プログラムに取り込まれるようになっている。

しかし、広報教育には未だ多くの課題がある。例えば、学部教育では広報の学位を授与する大学が依然として存在せず、広報を体系的に学ぶ機会が諸外国に比べ圧倒的に少ない。大学院教育では研究者の育成が遅れているため、学術的な広報研究の担い手が少ない状況が続いている。そして実務の現場では、複雑化・多様化する広報ニーズに対応できる人材の育成のあり方が問われている。

現に、新型コロナウイルスの感染拡大・長期化という未曾有の危機において、あらゆる組織が広報活動のデジタル化を強いられ、その担い手の育成が急務となった。また、今後、組織の成長や競争力強化のためにはデジタル技術の活用を通じたビジネスモデルの改変、す

なわち、デジタル・トランスフォーメーション（DX）の必要性が指摘されている。DXは消費や経済、法制度、政策など社会の各方面に大きな影響をもたらす可能性があり、広報領域においてもDXに対応できる人材の育成が求められている。

変化を続ける環境の中で、様々なステークホルダーとの信頼関係の構築と維持という広報のミッションを担う人材にはいかなる知識や技術、能力、資質が、そしてどのような育成のあり方が求められているのだろうか？広報教育は今、どのような現状にあり、課題を抱えているのか？本大会では広報教育の発展に貢献してきた研究者や実務家をお招きし、広報教育の過去と現在、そして未来について議論をしたい。

2. 会期

2021年10月9日（土） 10:00～19:45

10日（日） 09:30～16:00

3. 会場

上智大学 四谷キャンパス

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1



JR 中央線、東京メトロ丸ノ内線・南北線/四ッ谷駅 麴町口・赤坂口から徒歩 5 分

4. 全体スケジュール

10月9日（土）【1日目】

09：30～ 受付（2号館 4F ラウンジ）

10：00～10：10 開会式（2号館 401 教室）

10：15～10：30 ポスターセッション口頭案内（2号館 4F ラウンジ）

10：30～11：30 ポスターセッション・投票（2号館 4F ラウンジ）

11：45～12：45 ランチョンセッション①（2号館 401 教室）

13：00～15：00 統一論題シンポジウム（2号館 401 教室）

テーマ：広報教育の発展とデジタル・トランスフォーメーション

基調講演：田中道昭（立教大学ビジネススクール教授）（内諾済）

15：10～17：10 パネルディスカッション（2号館 401 教室）

17：15～17：30 学会賞表彰式（2号館 401 教室）

17：45～19：45 懇親会（2号館 5F カフェテリア）

10月10日（日）【2日目】

09：30～11：45 自由論題口頭発表（2号館 408 教室、409 教室、410 教室）

12：00～13：00 ランチョンセッション②（2号館 401 教室）

13：15～15：30 自由論題口頭発表（2号館 408 教室、409 教室、410 教室）

15：45～16：00 閉会式・次回開催校挨拶（2号館 401 教室）

注）新型コロナウイルスの感染状況次第で、大会がオンライン開催となる可能性があります。

※オンライン開催となる場合、現在のところ、zoom を使ったリアルタイム実施（同期実施）を想定しています。

（ポスターセッションのみポスターの pdf 配付を用いた非同期実施を想定しています）。

※オンライン開催となる場合、懇親会は実施しません。

※オンライン開催となる場合、参加費を減額する予定です（よって、大会参加費の振込は開催方式が確定してからをお勧めします）。

※現地開催とするかオンライン開催とするかは7月末をメドに会員各位にご連絡します。

※本案内の展開段階では現地開催を予定しておりますので、ホテルの予約はお早めに。

5. 自由論題口頭発表の研究発表について

発表ご希望の方は、オンラインフォーム「日本広報学会第27回研究発表全国大会＜研究発表＞申込書」（<https://www.jsccs.jp/27abstractsubmission.html>）に必要事項をご記入の上、ご

提出ください。また、下記を厳守願います。

- (1) 発表のための応募資格（下記8）をご確認ください。
- (2) 口頭発表は2 日目に実施します。1 報告あたり質疑応答を含め 30 分の予定です。発表の時間や会場のご希望はお受けできません。
- (3) 発表の申込期限は7 月 30 日（金）です（必着、期限厳守）。発表論題と要旨（400 字以内）をオンラインフォームにて提出してください。
- (4) 本大会での発表は、他学会も含めて未発表のものに限ります。学会誌『広報研究』への論文等投稿とは直接関係ありませんので、『広報研究』投稿と同一テーマの発表も差し支えありません。
- (5) 発表時点で学術研究として完成している必要はありませんが、将来的に学術研究として仕上げる意図がないと考えられる内容の場合、発表をお断りすることがあります。
- (6) 発表の可否は提出された要旨に基づいて大会運営委員会で決定し、ご本人に連絡します。ただし、予稿の提出締切までそれほど間がありませんので、あらかじめご承知おきください。
- (7) 優れた発表をされた報告者に対しては、学会誌への投稿をお願いする場合があります。

6. 予稿について

自由論題口頭発表の発表予定者には予稿（発表予定原稿）を作成いただきます。予定者には、発表可否の通知とともに執筆要領をお送りします。予稿は学会事務局にメールでご提出ください。

- (1) A4、2 ページまたは4 ページにて作成ください（図表、注、文献を含む）。完全原稿を提出してください。学会事務局・大会運営委員会では校正を行いません。
- (2) 予稿の提出期限は8 月 23 日（月）正午です（必着、期限厳守）。メールにて提出してください。

7. ポスターセッション発表について

発表ご希望の方は、オンラインフォーム「日本広報学会第27 回研究発表全国大会＜ポスター発表＞申込書」(<https://www.jscs.jp/27posterabstractsubmission.html>) に必要事項をご記入の上、ご提出ください。また、下記を厳守願います。

- (1) 発表のための応募資格（下記8）をご確認ください。
- (2) ポスター発表は1 日目に実施します。10 月 9 日（土）10:00 までに掲示を行ってください。A0 判ポスターを貼る展示パネルを用意します。ポスターは各自ご準備ください（PPT スライドなどでも構いません）。学会事務局・大会運営委員会では印刷いたし

ません。

- (3) 1 日目の 10:30～11:30 をセッションの時間とし、各自のポスター前で説明をいただきます。なお、ポスターセッションの口頭案内を 10:15～10:30 で開催します。また、ポスター発表に対して会員の皆様に「優秀ポスター賞」の投票を行っていただきます。投票結果は懇親会で発表いたします。
- (4) 発表の申込期限は 8 月 23 日（月）正午です（必着、期限厳守）。発表論題と要旨（400 字以内）をオンラインフォームにて提出してください。なお、予稿集には要旨がそのまま掲載され、著者順は申込書に記載の順番とします。
- (5) 本大会での発表は、他学会も含めて未発表のものに限ります。学会誌『広報研究』への論文等投稿とは直接関係ありませんので、『広報研究』投稿と同一テーマの発表も差し支えありません。
- (6) 発表の可否は提出された要旨に基づいて大会運営委員会で決定し、ご本人に連絡します。
- (7) 2020 年度および 2021 年度「研究事例・交流部会」「学会助成研究」の代表者の皆様には、例年同様、ポスターセッションでの研究報告（経過報告または成果報告）をお願いします。

8. 自由論題口頭発表・ポスターセッション発表の発表者の応募資格

自由論題口頭発表・ポスターセッション発表に応募される方は、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- (1) 2021 年 6 月 2 日現在、日本広報学会の個人会員、学生会員、法人会員代表者、法人会員登録者のいずれかであること。ただし、2020 年度までの年会費に未納がなく、2021 年度分の会費を 2021 年 7 月 30 日までに納入していること。
- (2) 2021 年 7 月 30 日までに日本広報学会の入会申込書を学会事務局に提出し、2021 年度分の会費を同日までに納入した者。

ただし、個人会員が指導する学部ゼミ生は、非会員であっても、ポスターセッション発表に応募できます。応募に際しては、申込書の該当欄にチェックを入れ、指導教員名を明記してください。また、発表にあたっては所属ゼミナール名を明示いただき、指導教員もポスターセッション発表に立ち合ってください（指導教員が発表者に名を連ねるかどうかは発表者の自由です）。

自由論題報告・ポスターセッション発表を通じて、第 1 著者としての報告は 1 報告のみに限ります。ただし、7（7）で示した代表者が【「研究事例・交流部会」「学会助成研究」の報告をポスターセッション発表で行い、別の発表を自由論題口頭発表で行う】場合のみ、

第 1 著者として両方の報告を行うことを認めます。また、第 2 著者以降として発表に名を連ねる際の報告数に制限はありません。

9. 大会参加申込と参加費・懇親会費の納入

大会参加申込については、後日あらためて情報を展開いたします（7月上旬を予定）。

10. 宿泊先

宿泊先は各自でご手配ください。大会運営委員会では宿泊先の確保はいたしません。大会会場付近には多数のホテルがございます。早めにご予約ください。

日本広報学会 第 27 回研究発表全国大会 大会運営委員会（50 音順）

運営委員長：国枝 智樹（上智大学）

運営委員：

岩澤 康一（Key Message International）、黒田 明彦（電通 PR）、高柳 直弥（大正大学）、

真部一善（オフィス・マーベリック）、村上 信子（大分県立芸術文化短期大学）、

吉野 ヒロ子（帝京大学）

+

大島 昌子（学会事務局／事務局長）、河井 孝仁（東海大学／研究委員長）

<https://movabletype.net/sites/22990/blogs/75112/assets/new>

<本件のお問い合わせ・ご連絡先>

日本広報学会事務局

〒169-8518 東京都新宿区高田馬場 1-25-30

TEL 03-5283-1104 FAX 03-5283-1123 Email : jscsty@gamma.ocn.ne.jp

※今回のお知らせでは、プログラム等に未定部分がありますが、確定次第、学会ホームページで最新情報を掲示します。 ホームページアドレス：<https://www.jsccs.jp/>

以上